

# 水道事業会計決算

**1億1154万円の  
単年度黒字**

平成22年度は、水道料金収入が若干増加したものの、補助金収入などの減少で、昨年度より約624万円少ない12億7735万円の収入となりました。  
支出は、委託料や電気料金の増加などで、昨年度より約1507万円多い11億6581万円となり、結果、1億1154万円の黒字となりました。

この純利益(利益剰余金)は、借入金返済に充てるため積み立てます。

## 平成22年度の主な事業

### ◆老朽管更新事業

安定した給水と有収率(年間総配水量に対して、実際に収入になる水量の割合)の向上を図るため、柄沢や池内道上などで老朽化した配水管の更新工事を行いました。

### ◆浄水施設等整備事業

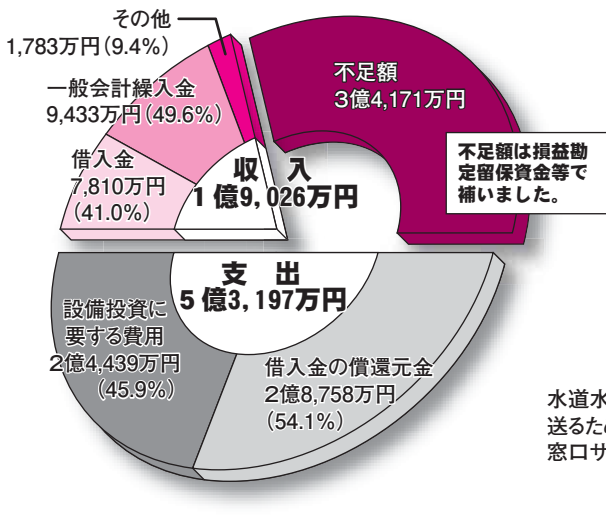
安全な水の安定供給を図るため、計画的に整備を実施しています。22年度は、中山取水場導水ポンプ整備や山館浄水場沈殿池攪拌装置取り替えなどを行いました。

### ◆配水管整備事業

根下戸新町や桜町南などで配水管布設工事を行いました。

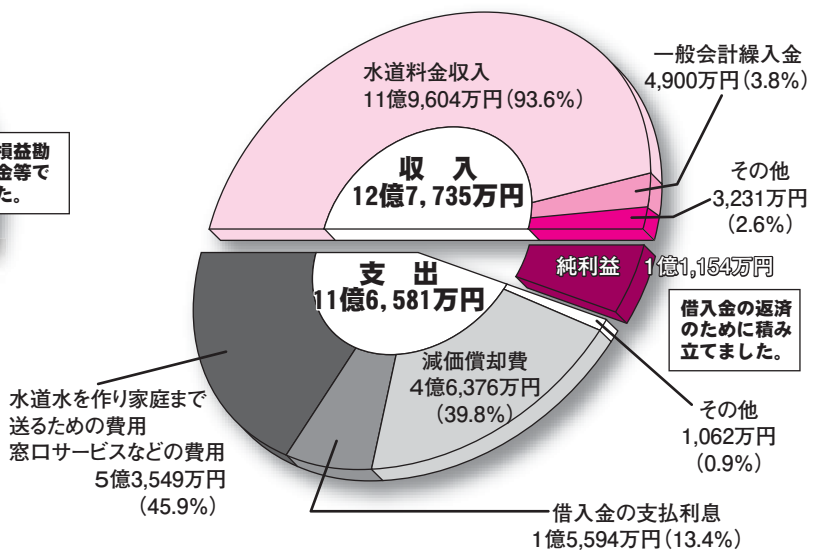
## 資本的収支(消費税込み)

(施設の整備に関する収支)



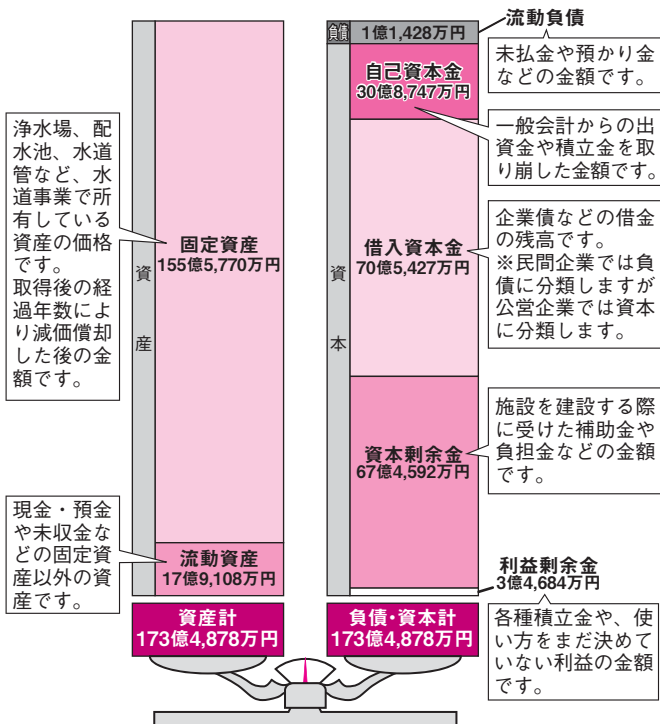
## 収益的収支(消費税抜き)

(事業の運営に関する収支)



## 平成22年度 大館市水道事業貸借対照表

(平成23年3月31日現在)



## 給水状況(上水道)

給水人口	57,297人
給水戸数	22,649戸
給水区域内普及率	87.8%
年間総配水量	6,167,648m <sup>3</sup>
年間有収水量	5,146,678m <sup>3</sup>
有収率	83.4%
1日最大配水量	19,879m <sup>3</sup>
1日平均配水量	16,898m <sup>3</sup>

## 給水状況(簡易水道)

給水人口	7,302人
給水戸数	2,518戸
給水区域内普及率	80.7%
年間総配水量	814,192m <sup>3</sup>
年間有収水量	600,434m <sup>3</sup>
有収率	73.7%
1日最大配水量	2,734m <sup>3</sup>
1日平均配水量	2,230m <sup>3</sup>